

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年6月11日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0871600185		
法人名	有限会社 かさま夢くらぶ		
事業所名	ケアホーム夢くらぶ	ユニット名	
所在地	〒305-1625 茨城県笠間市来栖2846-5		
自己評価作成日	平成25年11月27日	評価結果 市町村受理日	平成26年6月9日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=0871600185-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年1月20日	評価機関 決 済 日	平成26年5月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

当施設では大きな農園があり今年もブルーベリーがたくさん収穫されました。ブルーベリーのジャムを作りヨーグルトにかけて食しました。利用者様と共にとってもおいしくいただきました。今年も笠間の菊まつりに11月6日行きました。八重のさくらをモデルにして とても華やかでした。天気も良く利用者様も元気で 外出すること出来ました。天気の良い日は できるだけ外出できるように考慮しています。また今年も入所されて5年目になる利用者様が100才の誕生日を迎えることが出来 盛大にお祝い致しました。市長様もおいでくださいました。普段は自由に過ごしていただいております、カラオケが好きな方は ホールで楽しんでいただいております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は雑木林に囲まれた自然豊かな場所に立地し、利用者は日々広い敷地内での散歩などを楽しんでいる。
自家菜園でブルーベリーや野菜を栽培し、収穫して日々の食材に活用している。
代表者が所有する田んぼで生産された米を使用するとともに、調理師である代表者が旬の野菜を使って食事を作るほか、利用者の状態に合わせて刻み食なども提供している。
居室が明るくなるよう天窓を増設したり、利用者が快適に入浴ができるよう改築して大型の浴槽を設置したりしている。
管理者や職員は利用者により添い、一人ひとりの気持ちを大事して利用者本位の支援を行っている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	こちらの事業所の理念を全職員で共有し、利用者が安心して安全な環境で暮らして行ける様日々心がけて実践にとりくんでいる	開設時に代表者と施設長が地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成している。 職員が理念を確認ができるように玄関に掲示しているが、理念に基づいた支援ができていのかどうかを全職員で確認する機会を設けるまでには至っていない。	全職員で理念を振り返る機会を設け、理念に基づいた支援ができていのかどうかを定期的に確認することを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の小学校の運動会に参加したり近隣の方を招いて防災訓練を行ったりと積極的に交流を心がけている。	近隣の小学校の運動会に招待され、利用者と職員は応援に出かけている。 大学生の介護実習の受け入れ先となったり、日本舞踊のボランティアや大相撲の力士の訪問を受け入れている。 近隣住民とは野菜のお裾分けを頂いたり、事業所の避難訓練に参加を得たりしており、良好な関係を築いている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	市で行う認知症の講習会を職員と共に参加して みんなで共有しまた家族の方にも報告し みんなで支援していくようにしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度市の職員や民生委員 家族等で話し合いの機会を持ち事業所の状況報告、また介護委員会でのテーマを取り上げて話しあっている。話し合うことによって 知識の向上 またサービス向上につながる。	運営推進会議は家族等や市職員、民生委員、施設長、管理者で2ヶ月に1回開催している。 会議では職員が受講した認知症に関する外部研修の内容を取り上げたりしているが、議事録に市担当者からの情報や地域の代表者からの提案、家族等の要望など、話し合った内容を具体的に記載するまでには至っていない。	運営推進会議の議事録には委員から出た意見や要望など、話し合った内容を具体的に記録することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市職員と連携を取り研修会などに積極的に参加し 事業所の空き情報を報告したり生活保護関連の事など情報を得るなど行っている 一般市民の見学会など受け入れて協力関係を築いている。	管理者は市担当者に介護保険法改正に関する疑問点を聞いたり、生活保護受給利用者について連絡を取り合ったして連携を図っているほか、市主催の笠間地区地域ケア連絡情報交換会に出席している。市が主催するグループホーム見学会の会場になるなど、市と良好な関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	こちらの事業所では 身体拘束をしないケアを実践している。ただし玄関にチャイムを設置して利用者の外出を察知した場合は 入浴介助等で目が行き届かない時間帯に限り利用者の安全の為玄関を施錠している。 契約書にも身体拘束をしないケアの同意書を組み入れている。	職員は身体拘束排除のための外部研修や高齢者虐待防止に関する外部研修を受講し、身体拘束の弊害を理解している。身体拘束排除のためのマニュアルを作成するとともに、やむを得ず身体拘束を行なう場合に備えて同意書を準備しているが、経過観察記録や再検討記録を整えるまでには至っていない。利用者の入浴介助などで、職員の目の行き届かない時間帯に限り玄関を施錠している。	やむえず身体拘束を行う場合に備え、経過観察記録や再検討記録の書類を整備することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内での虐待がないように全職員で見守っています。虐待の研修会を受けてきてあらゆる場面で虐待は起こり得ることだと認識した。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見制度については 研修会に積極的に参加するなど 知識を得て行くよう 必要とする利用者があっても受け入れていくよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分な説明を行い疑問点がある場合には充分理解して契約してもらえるように話し合いができるよう配慮している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関ホールに 苦情・ご意見箱を設置し 意見や要望を引き出す努力をするとともに 運営推進委員会の際に家族や地域の意見を反映して 施設でのミーティングの時にその意見が質の向上につながるようにできるように話し合いを行う。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記しているほか、玄関に意見箱を設置している。 職員は利用者との日々の会話から意見や要望を聴いたり、しぐさから思いを推測したりしている。 利用料の支払いは事業所に来訪してもらうこととしており、その機会に家族等から意見や要望を聴くよう努めている。 家族等から「居室が暗いので明るくしてほしい」との要望を受け、照明器具を交換して改善に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング・利用者ひとりひとりのカンファレンスを開催し 職員の意見や提案を聞き、質の向上に役立てるよう取り組んでいる。	管理者は2ヶ月に1回開催する職員会議で職員の意見や提案を聞いて運営に反映させているが、議事録を作成するまでには至っていない。 施設長も職員と話し合う機会を設け、意見や要望を聞いている。 職員から出た要望を受け、車いす対応のリフト付き車両を購入している。	職員会議の議事録を作成することを期待する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力に目を向け 実績をくみ取り処遇へ反映させることでやる気が起きるように努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の力量を把握し、段階に応じた研修、講習、研修に積極的に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市の介護委員会に出席した際に交流を心がけている。積極的に参加してつながりを持つよう努めている。ケアマネ会が発足して研修会など積極的に取り組む。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	9月に入所された方、失語症の方が少しずつ話すことができ本人にむきあうことの大切さが望む生活ができるようになったことは家族の方 職員にとってもプラスになったと考えることができた。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者本人に向き合い 本人の声にしっかり耳を傾け安心して暮らしができるようにその人らしい生活が送れるように支援していく。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	どのようなことでも 家族の声をしっかりと耳を傾け思いを受け信頼関係が得られるように支援して行く。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者との関わりを持つ中で一人一人の思いを理解しその方のやりたい事 望む生活になるように関係構築を行っている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族がいつでも気軽に利用者様に会えるように面会時間は 作っていない いつでもどうぞ		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	年に一度の笠間の菊祭りを利用者様全員そろって見物してることができ 利用者の笑顔がみることができ ほほえましく思います	利用者の近所に住んでいた友人が来訪したり、行き付けのショッピングセンターや農産物直売所に職員と買物に出かけたりしている。 外出時には馴染みの蕎麦屋で外食を楽しんでいる。 事業所の都合で利用者の外出の要望に応えられない場合は、家族等に利用者の希望を伝え、同行を依頼して馴染みの人や場所の関係が継続できるように支援している。 笠間の菊祭りは全員で出かけている。 事業所には定期訪問による理美容師が来訪している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個人の生活利用者同士の相性を考え日常生活のリクリエーション等は職員が常に見守り援助を心がけ声掛けを行っている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	事情により退所されている利用者様家族とも気軽に相談できる関係を絶やさないように夢くらぶ通信を送付したりしている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者ひとりひとりの言動から何を思い何を望んでるか探り 思いや希望を把握できないときは 家族や介護者の区別なく本人の立場になって検討し支援している	職員は日頃から利用者のしぐさを観察したり、つぶやいた言葉から思いを推し測ったりして意向の把握に努めている。 意志疎通の困難な利用者の場合は家族等から話を聞いたり、利用者のしぐさや行動などから推し測ったりして、利用者本位の支援ができるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者に寄り添った介護をする為に本人の生活歴、介護サービスが必要になった経過等の情報を精査検討し 家族や本人が安心できる生活の場 馴染みの暮らしが築けるような支援に努める			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の状態を観察し希望を尊重しながらスタッフ同士で情報を共有し 状態把握を行っている			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族の要望をとりいれ全スタッフでカンファレンスやミーティングを行うと共に毎月モニタリングを実施し3か月に1度見直しして介護計画を作成している	介護計画は利用者や家族等の意向や利用者の生活面での課題を把握するとともに、計画作成担当者を中心に職員の意見を取り入れながら、短期目標は3ヶ月、長期目標は6ヶ月で設定し、家族等の来訪時に説明して同意を得ている。 介護計画は2ヶ月毎の担当者会議で検討するとともに、介護記録を基に3ヶ月と6ヶ月の設定期間毎に評価を行っている。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合には、随時現状に即した介護計画に見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のアセスメントに日々の生活の様子を記録し変化やきずきなどには 申し送りノート連絡ノートを書く事で情報を共有しより良いケアが行えるように努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時その時の利用者や家族の希望に耳を傾け それに対して出来る限り柔軟に臨機応変に対応しその人に合った支援をしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者の体調を考え 南小運動会、芋煮会等学校からの連絡があれば行事にもデイの方等と一緒に楽しむことができるように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の意見を重要と考え 医療関係者と蜜に関わり連携を取りながら病状に合った病院への受診をおこなっている	かかりつけ医への受診は家族等の付き添いを基本としているが、利用者や家族等の要望があれば、かかりつけ医への定期受診は職員が対応し、受診結果は電話で家族等に報告している。 月2回協力医療機関の医師による訪問診療を受診することができ、利用者の健康管理に努めている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者、スタッフ同士で情報を共有し看護師に状態の変化を伝え様子を見ていただき、適切な看護を受けられるように支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリー等で情報交換を行い相談にはその都度対応しながら連携が図れている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	市内の医療機関との連携を確保してあるので事業所の意見を家族に理解していただいたうえで同意書に署名をいただいている	「看取りケアについての同意書」を作成し、医療的処置が必要になった場合は、病院などの医療機関での対応となることを家族等に説明して同意を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の身体状態の急変や事故発生時にもあわてずに適切な対応ができるように応急手当などに関しても実際の場面で生かせる技術を学んでいる		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域との協力体制をきずきながら1年に2回 昼夜とわず 避難訓練の実施を行っている。災害時に備え食糧や飲料水等を備蓄すると共にスプリンクラーを設置している。現在は避難訓練も消防分団員のかたがたの参加もあるようになった	年2回夜間想定を含めた総合避難訓練を近隣住民の参加を得て実施している。避難訓練の実施記録に良かった点や反省点、避難に要した時間などを記載するまでには至っていない。 災害発生に備えて米や乾パン、飲料水、清涼飲料、紙おむつなどの生理用品、毛布、懐中電灯などを備蓄しているが、賞味期限を記入した備蓄品リストを作成するまでには至っていない。	避難訓練の良かった点や反省点、避難に要した時間などを記入した避難訓練の実施記録を作成するとともに、賞味期限や在庫数を記載した備蓄品リストを作成することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様は人生の先輩であり私たちの将来の姿と考え 常に尊敬を心に持って接して行きたい	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者に対する呼び方や言葉遣いなどに配慮して支援している。 プライバシー保護に関する研修を行っている。 利用者や家族等に個人情報の利用目的を説明し、写真の掲示や広報紙への掲載などについて同意を得ている。 個人情報に関する書類は事務室の施錠ができる書棚に保管し、取扱には十分留意をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者一人一人の思いをくみ取り願いに耳を傾け自己決定、自己満足できるように日々 こころくばりをしている			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者ひとりひとりの能力とペースを重視して個々の希望に配慮しながら生活支援を行っている			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人一人の個性、希望に応じて望む髪型、ヘアカラー、服装等が得られる様家族の協力の基に支援している			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と共に近くの直売所に買い物に出かけた時にはリクエストメニューにしたり好みの食材でお好み焼きをつくったりと食事を楽しむ工夫をしている	献立に利用者の希望を取り入れるとともに、食材は近隣の農産物直売所で購入したり、自家菜園で収穫した旬の野菜を使用したりしている。 朝食は職員が調理し、昼食と夕食は調理師である代表者が調理をしている。 職員は利用者と同じ食事を摂り、利用者と一緒に会話をしながら楽しい雰囲気ですることができるように支援している。 誕生会ではケーキ、リクエストメニューではぼた餅を作り、食事を楽しめるように工夫している。 利用者が高齢化して運動機能が低下しているため、食事の準備や後片付けなどを行うまでには至っていない。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の毎日のカロリー・水分摂取量の記録等健康で快適な生活が長く送れる様に また生活が楽しめる細心の注意を払い又利用者のリクエストにも答えている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアには特に注意して利用者ひとりひとりチェックして歯周病や義歯の不具合の早期発見に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者一人一人の排泄表を作成し個々の排泄パターンを作成し 声掛け誘導を率先して行い失禁及びおむつ使用を少しでも減らす支援をしている	職員は排泄チェック表を活用して利用者の排泄パターンを把握するとともに、一人ひとりのタイミングに合わせながらさり気なく声かけをしてトイレに誘導し、できる限りトイレで排泄ができるように支援している。 定期的なトイレ誘導も行っており、紙おむつの使用量が少なくなった利用者もいる。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	季節の野菜、魚等の献立を多く取り入れおやつにはヨーグルト、かんてんを使用する等便秘に依る健康被害を熟知し解消に看護師、ヘルパー共々神経を使っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の方々は入浴を楽しみにしている為1回でも多く入浴できるようにバイタルチェックを行い体調の許す限り入浴希望が叶うようにしている	入浴は週3回を基本としているが、利用者の要望があれば、何時でも入浴ができるように支援している。 身体の移動をサポートできる支持棒を備えた大型の浴槽を設置し、安心して入浴が楽しめるよう支援をしている。 菖蒲湯や柚子湯で季節感を取り入れている。 現在入浴を拒む利用者はおらず、利用者全員が入浴を楽しみにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	適度な運動、体操を取り入れ休憩時間、安眠が取れる生活リズムを支援し又広い空間を利用して静養場所も確保している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬ノート、受診報告書を記帳し副作用の出現や体調の変化に対応できるよう万全を期している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者ひとりひとりの出来ること、やりたいことを把握し能力に合った仕事をお願いして出来る喜び、役立っているという喜びが味わえるよう工夫している（例えばカラオケの音楽かけ）		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の天候に合わせた散歩、ドライブまた利用者の個人の持つストレス解消の為、買い物、外出は常に行っている。例えば予定外でもドライブ等行きたいと言えば対応している	<p>天気の良い日には広い事業所の庭を散歩したり、近隣にある笠間クラインガルテンの農産物物直売所に出かけられるよう支援している。</p> <p>年間の行事計画を立て、季節毎に花見や紅葉狩りに出かけている。</p> <p>天気が良ければ毎週木曜日にドライブに出かけ、近隣にある笠間陶芸の丘や飯田ダムに出かけている。</p> <p>利用者一人ひとりの外出の希望にもできるだけ対応するよう配慮をしている。</p>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の金銭に対する意欲能力を把握して家族からお金を預かり、好きな買い物をしたり、小遣い帳をつける支援を行っている	/	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	玄関、ロビー、広間、食堂に電話が設置されており利用者さまが希望すればいつでも、使用できる又依頼があれば何時でも取次をしている	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族延長の様な畳、障子戸、広い廊下、昔懐かしい おおきなふりこ時計、季節感あふれる植木ばち、生け花と心休まる工夫がされている	<p>居間は舞台付きの約50畳の大広間となっており、舞台には利用者が楽しめるようテレビやカラオケセットを設置しているほか、広間にはベッドやソファを配置し、利用者一人ひとりの体調や生活リズムに合わせて過ごせるよう配慮をしている。</p> <p>玄関や廊下、居間には季節の花や観葉植物がいたる所に飾られており、居心地のよい空間となっている。</p> <p>居間や食堂、廊下に1年間の行事の写真を掲示している。</p> <p>居間や食堂は利用者と職員が会話を楽しみながら過ごす場所となっている。</p>	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関、ホール、廊下にテーブルを設置し、仲良く利用者のおしゃべり又ひとりでくつろげる場所が確保してあるので、よろこばれている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今年は屋根に明かり取りもできたので部屋は明るく安心して快適に過ごせる居室の提供を常に心がけている	居室にはエアコンやベッド、整理箆筒が備え付けられている。 利用者は居室に使い慣れた寝具やラジオカセットテープなどの電器製品、家族の位牌や写真など馴染みの物品を持ち込んでおり、居心地よく暮らせる場所になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、居室には手すりがあり歩行訓練、又自立歩行に使用でき、付き添っての歩行訓練もできるようになっている		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 ケアホーム 夢くらぶ

作成日 平成26年6月6日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に基づいた支援ができていないかどうか全員で確認する機会を設けるまでには至っていない	全職員で理念を振り返る機会を作り定期的に確認する	職員会議の際理念に基づいた支援ができていないか話し合い定期的に確認し記録する	H26.6～H27.6
2	4	運営推進会議では議事録に市担当者からの情報、地域の代表者からの提案、家族の要望など話し合った内容を具体的に記録するまでには至っていない	運営推進会議に議事録は作成しているが更に内容を鮮明に記録していく	運営推進会議は2ヶ月に一度開催しているので議事録は作成しているが更に市担当者から情報や地域の代表者からの提案家族の要望を取り入れ記録する	H26.6～H27.6
3	6	やむおえず身体拘束を行う場合に備え経過観察、記録や、再検討記録を行っていない	今年度も外部研修を積極的に取り入れ身体拘束排除に関するマニュアルを作成する	やむおえず身体拘束を行う場合に備え研修に参加し経過観察記録や再検討記録の書類を整備する	H26.6～H27.6
4	11	職員会議の記録を作成するまでには至っていない	職員会議で意見や提案を聞いて議事録を作成しているが更に質の向上を目指す	職員会議で意見や提案を出して施設長も職員と話し合う機会を設け、運営に反映していく	H26.6～H27.6
5	35	避難訓練の良かった点や反省点、避難に要した時間などを記入していない。在庫数や備品リストを作成していない	避難訓練の実施記録に良かった点や反省点を記載するまた備蓄品リストを作成する	避難訓練の良かった点反省点 避難に要した時間を記録し賞味期限、在庫数を記録した備蓄品リストを作成する	H26.6～H27.6

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。